

令和5年度 主権者教育年間指導計画

三重県立四日市南高等学校(全日制・普通科)

目指す学校像		育みたい生徒像		主権者教育のねらい	
<p>○高い志と豊かな人間性を育むとともに、一人ひとりの可能性を引き出し、自己実現と進路実現を図る学校</p> <p>○自主・自律の精神を養い、未来を切り拓き、社会に貢献しようとする意思を育む学校</p>		<p>○明確な目的意識を持って、主体的・協働的に学び、学ぶ楽しさを感じながら互いに高め合う生徒</p> <p>○ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、特別活動などに積極的に取り組むことを通じて、豊かな感性や人権意識、自己有用感、他者と協働する力、リーダーシップ、向上心などを身に付け、社会に貢献しようとする意思を持つ生徒</p>		<p>○様々な教育活動を通じて、他者と連携・協働しながら、地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付ける。</p>	
各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等における年間指導計画					
学期	学校行事	各学年	各教科・科目	各分掌等	
1 学期 (4月 ～ 7月)	<p>【体育祭・クラスマッチ】 競技ルールを遵守し、他者と協働しながら、自分の役割を果たすことの大切さを学ぶ。</p> <p>【学校環境デー】 通学路を中心とした地域清掃活動を通じ、環境問題や地域の課題への理解を深める。</p>	<p>【全学年】 年度当初のHR役員や係の決定、生徒会行事等の準備において、他者と協働しながら話し合う。</p> <p>【2 学年】 修学旅行の調べ学習を通じて、他者と共同して学習活動に取り組む、協調性やコミュニケーション力を養う。</p>	<p>【家庭】 結婚のあり方、女性の就労、家事分担、WLB、社会保障制度をテーマに学ぶことで、現代の抱える諸課題を考察する。</p> <p>【地歴】 世界史において二度の世界大戦とその反省に基づいて成立した現代国際社会の様相と諸課題を学ぶ。</p>	<p>【生徒会】 体育祭・クラスマッチ等において、生徒会役員を中心に生徒主体の運営を行う経験を通じて、複数の意見や見解を比較検討したり、自分の意見や考えを表現したりする能力を育む。</p>	
2 学期 (8月 ～ 12月)	<p>【南高祭・クラスマッチ】 クラス企画発表ルールや競技ルールを遵守し、他者と協働しながら、自分の役割を果たす。</p> <p>【生徒会役員選挙】 選挙を通じ、誠司の仕組みについて考え、代表を選ぶことで、構成員としての自覚を促す。</p>	<p>【全学年】 文理選択、科目選択、志望校の決定など、それぞれの学年において、自らの進路を考えることで、社会の一員としての展望を持つ。また人権講演会等（SNSの利用について）を通じて、これからの情報社会に参画する態度や技術を培う。</p> <p>【2 学年】 修学旅行において、主体的・体験的な学習により見聞を広め、集団行動・集団生活の大切さを学ぶ。</p>	<p>【公民】 家族、地域社会、高度情報化社会、文化と宗教、国際平和と人類等の分野での学習において、生き方・あり方を考える。</p> <p>【地歴】 日本史において普通選挙法成立までの過程を学習し、選挙権を持つことの歴史的意味を深く理解する。</p>	<p>【生徒会】 南高祭（文化祭）・クラスマッチ等において、生徒会役員を中心に生徒主体の運営を行う経験を通じて、複数の意見や見解を比較検討したり、自分の意見や考えを表現したりする能力を育む。</p>	
3 学期 (1月 ～ 3月)	<p>【生徒会役員選挙】 選挙を通じ、誠司の仕組みについて考え、代表を選ぶことで、構成員としての自覚を促す。</p> <p>【クラスマッチ】 競技ルールを遵守し、他者と協働しながら、自分の役割を果たす。</p> <p>【生徒大会】 生徒会が主催し、クラス討議を経て、学校へ学校生活をより充実させるための要望を挙げることによって、のちの主権者としての意識を高める。</p>	<p>【全学年】 1年間を振り返り、反省点や仮題を見つめ、次年度の取り組みにつなげる。</p>	<p>1年間を振り返り、反省点や仮題を見つめ、次年度の取り組みにつなげる。</p>	<p>【生徒会】 クラスマッチ・生徒大会等において、生徒会役員を中心に生徒主体の運営を行う経験を通じて、複数の意見や見解を比較検討したり、自分の意見や考えを表現したりする能力を育む。</p>	
通年	<p>【挨拶・身だしなみ】 生徒が考案した標語「I（私）から愛の溢れる挨拶を」による挨拶運動や身だしなみ指導を通じて、社会のマナーやルールを守ることの大切さを理解し、社会の構成員としての自覚を促す。</p> <p>【西日野にじ学園との交流】 西日野にじ学園高等部との共同学習・西日野駅花いっぱいプラントづくりなどの交流を通じ、相互理解を促し、共に助け合って生きていく大切さを学ぶ。</p>	<p>【全学年】 ホームルーム活動、学年での活動において、他者を尊重し、異なる意見や見解を比較検討したり、自らの意見や考えを表明・表現する。</p> <p>【各学年】 主権者教育に関する講習会等を実施する。</p>	<p>【家庭】 実習やグループワークを通して、仲間とコミュニケーションをとり、ともに課題に取り組む中で、グループの一員としてどのように考え行動すべきか判断・実行する姿勢を促す。</p>	<p>【総務】 主権者教育に関わる各種啓発ポスターやチラシなどの掲示・案内</p> <p>【進路】 自らの進路を考えることは、自己の能力や適性を理解し、それらを将来いかに社会貢献に生かすべきかを考えることである。また、志望学部・学科を決める過程では現代社会の諸課題を理解し、その解決に向けて自らがどのように関わっていくべきかについて自ずと考察を深めることとなる。このことは主権者として積極的に社会に関わっていくこうとする態度を養うことにつながり、主権者教育の一環ととらえることができる。</p> <p>【人権】 特別支援学校西日野にじ学園との交流を通じて、社会の構成員としての自覚を促す。</p>	